



高宮幼稚園の特色

- 高宮町は、かつて、交通の要衝地として、また、高宮布の集産地、多賀大社の門前町として発展してきました。江戸時代に、宿駅がおかれたことにより、一層発展し数々の歴史と文化に彩られ、古きよき時代の風情を今に残す町です。小さな町ですが、神社仏閣が多く、地域のあちこちに言い伝えや昔話にまつわる名所旧跡がたくさんあります。
そうした町の人々に、温かく支えられている幼稚園です。
- 園の周辺には、田んぼや畑、川など、自然に触れることができる場がたくさん残っています。地域のよさを生かし、「豊かな心・生きる力を育む」ために、心を耕し、「じょうぶな子」「やさしい子」「がんばる子」を育てていきたいと考えています。



★幼稚園の周辺には自然が残っています。四季折々の変化を見つけに園外保育に出かけます。



★太田川に蛍の幼虫を放流しました。夏には「きれいな蛍に会えますように」



★めぐみ保育園・高宮小学校の子ども達と
いろいろな機会を通して交流をしています。



★遊びを見つけ、試したり・工夫したり、あそび込める環境づくりに努めています。

園内研究・研修

(1) 研究主題

「人とかかわる力を育むために」

～夢中になって遊び、自分の思いを素直に表現する子～

(2) 主題設定の理由

幼児期は、人間形成を培う大切な時期です。遊びを通して主体的な力を発揮し生きる力の基礎を養う時でもあります。また、幼児は色々な出来事や様々な人との出会い、関わり合いを通して人としての生きるための経験を積み重ねていきます。

しかし、近年の社会情勢から見ると家庭や地域では、十分にその経験が培えなく人とかかわりも希薄化しているのが現状です。

このような子ども達を取り巻く様々な環境の変化は、一人一人の子どもの人とかかわる力にも影響を与えていると考えられることから本年度も、本テーマを掲げ研究に取り組むこととしました。

子ども達は、遊びを基盤とした豊かな体験をし、存分に遊びこむと、自然とそこで感じたこと、思ったことを素直に身体やことばで表現していくと考えます。

夢中になって遊んだ子どもは、満足感、充足感を体感し、安心した気持ち、ゆったりとした気持ちをもつ。そして、次には自ら、周りの人に主体的にかかわっていくと考えます。その時、自らの思いを素直に話し、人の話にも耳を傾けていくのである。そのような子どもの姿を育むためには、どのような環境構成や教師の援助が必要か考えていきます。3年間の育ちの道筋を探りながら、人とかかわる力の育成に向けて取り組んでいきます。

(3) 研究内容

○主題の共通理解、研究の内容検討

○幼児が夢中になって遊ぶための環境構成の在り方や教師の援助方法を探る

○発達年齢に沿った話す・聞くの育ちを見取り、豊かな自己表現への手だてを探る。

○家庭・地域・小学校との連携活動の見直しと工夫

(4) 過去3年間の研究主題と指定研究歴

平成17年度 「心と身体を丈夫にする遊びの創造」

～一人一人の興味・関心に応じた遊びの場や援助方法の工夫～

平成18年度 県・市指定幼小連携推進事業

「ふれあい・感じ合い・育ち合う たかみやっこをめざして」

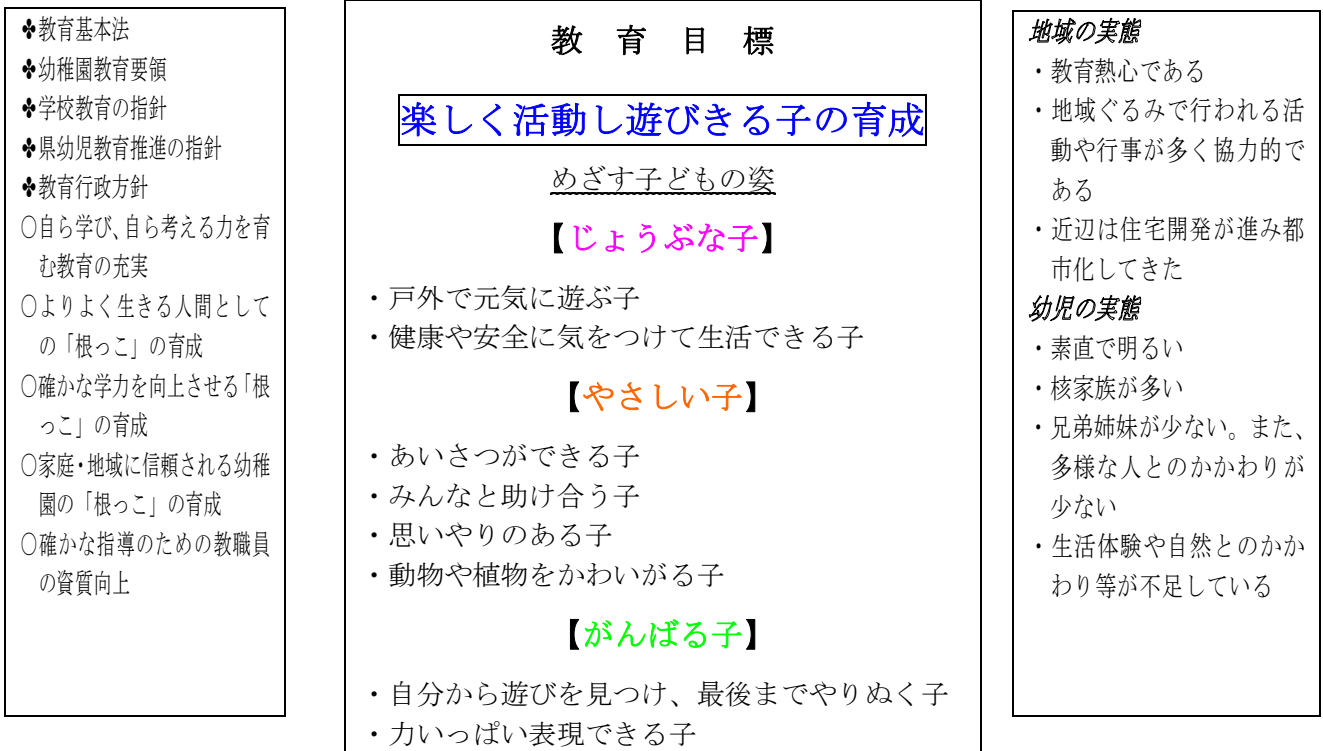
～保・幼・小の連携から考える～

平成19年度 「人とかかわる力を育むために」

～夢中になって遊び、自分の思いを素直に表現する子～

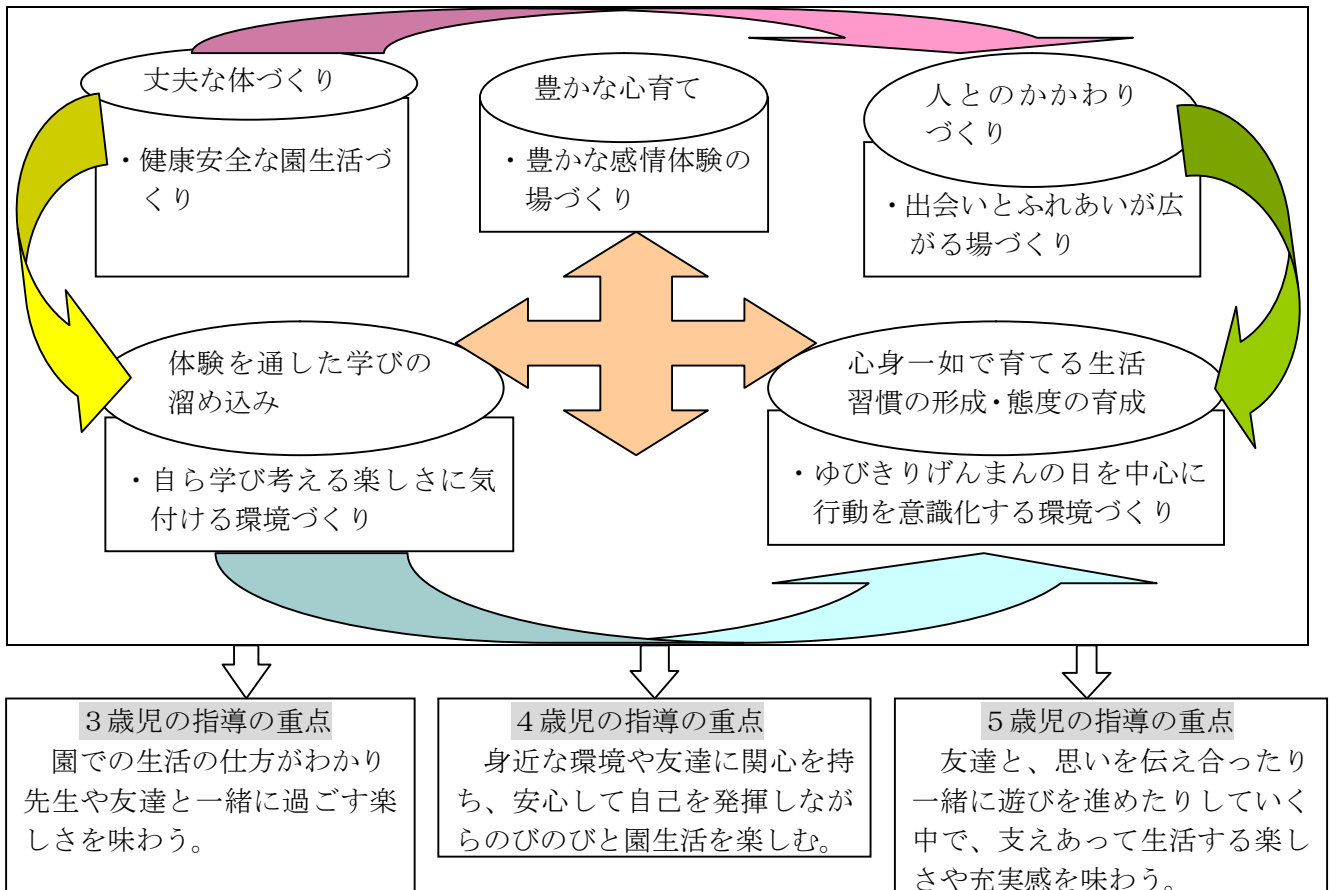
幼稚園経営管理全体計画（構想）

幼稚園経営管理全体計画



本園教育推進の基本

園教育の充実・・・根っこが育つ園経営の創意工夫



本年度教育の重点

身近な環境にかかわりいろいろな体験をする中で、豊かな心、すすんで人やものや自然にかかわろうとする意欲や態度を培い、生きる力の基礎を育む

1 基本的な生活習慣・態度の育成

- (1) 個に応じたきめ細かい指導に努める。
教師との信頼関係を基盤としながら、幼児一人一人が生活に必要な習慣や態度が身に付くよう、発達や場面に応じた適切な指導に努める。
- (2) 一園一約束の推進。
「トイレのスリッパなかよしスリッパ」を合言葉に、「ゆびきりげんまんの日」の設定など、繰り返し指導し、様々な生活マナーの習得や周りの人を思いやる気持ちにつなげるよう努める。

2 豊かな心を育み、創造的な思考の芽生えの醸成

- (1) 豊かな体験を得させる。
家庭とは違う集団生活ならではの様々な直接的、具体的な体験を充実する。
- (2) 環境の構成を工夫する。
幼児の興味や関心を大切にしながら、積極的にかかわっていきえるよう物的、空間的環境構成に努める。

3 豊かな人間性と社会性を育む教育の充実

- (1) 道徳性の芽生えを培う
身近な人・もの・自然に親しみ、他者の存在や気持ちに気付き、動植物に親しむことから、豊かなかかわりが育つよう努める。
- (2) 温かい人間関係をつくる。
豊かな感性を育み、遊びや生活の中での様々な感情体験を大切に、人権尊重の芽生えを培う。
- (3) 人権教育に関する指導の充実に努める。
教員の人権感覚を積極的に研くとともに、幼児への適切な指導力の向上に努める。

4 地域に開き、安心・安全で信頼される幼稚園づくりの推進

- (1) 地域に幼稚園を開く。
「親と子の育ちの場」となる地域に開かれた子育て支援の充実に努める。
地域の自然や文化、人材等の積極的な活用に努め、多様な体験を積み重ねる。
- (2) 安全・安心な幼稚園をつくる。
園内外の施設・設備の安全管理に努めるとともに、教員の危機管理意識の向上と保護者を中心とした地域の協力・連携に努める。
- (3) 保・幼・小の連携に努める。
幼児期から児童期の育ちの連続性を求めた、保・幼・小の連携推進に努める。
- (4) 特別支援教育への理解促進に努める。
特別な支援を必要とする幼児の理解の推進に努め、適切な指導の取り組みについて、関係機関との連携を密にする。

5 教職員の研修の充実

協力的体制を大切にしながら、園の組織的な教育力の向上に努める。
教師の一人一人のよさを伸ばし、個性を尊重しながら指導力を高め合うとともに、教員としての使命と責任を自覚し、自らの人格を高める研修の充実を図る。